

I. 総合判定の結果

(適合 不適合 保留)

認証期間：2022年4月1日～2029年3月31日

II. 総評

長崎大学医学部保健学科看護学専攻は、大学の理念・基本的目標、医学部保健学科の教育理念、看護学専攻の教育理念・目的に基づき、看護学専攻ディプロマ・ポリシー（以下、DP とする）、カリキュラム・ポリシー（以下、CP とする）を構築し看護学教育を行っている。授業科目は、看護学専攻 CP に基づき、入門科目・専門基礎科目・専門科目・発展的専門科目の連携を考慮し構成されている。

教育内容は、授業到達目標と7つの医学部保健学科 DP とが関連でき、学生自身がシラバス上で DP の能力獲得目標を確認しながら履修することが可能となっている。同時に、学生が継続的に自己評価できるシステムとして、主体的学習促進支援システム（以下、LACS とする）ポートフォリオを導入し、学生の入力状況の点検を教員が行ない、ポートフォリオへの教員のコメント入力率 100%を達成している。学生にフィードバックする取り組みを推進していることは、優れた取り組みと評価できる。

次に、教員能力の確保と向上を図る項目では、長崎大学病院の「診療補助従事者制度」を活用した教員の看護実践活動の実績、ならびに科研費採択率の高さは特筆すべき成果であり、組織的継続的な支援は優れた取り組みと評価できる。また、教育方法にあった教室の準備、実習モデルの整備、実習室の拡充がなされ、シミュレーター教育等が積極的に展開されている。

教育課程の評価と改革について、雇用者・卒業生からの評価結果を看護学専攻会議、保健学科教務委員会の教育課程の改善に結び付ける仕組みが整えられていることは、優れた取り組みと評価できる。

次に検討課題について述べる。

長崎大学 DP に示されている能力の獲得については、LACS 上で能力獲得指標のルーブリックが設定されているが、保健学科および看護学専攻の DP の能力獲得の判断指標は設定されていないため、今後、判断基準の作成および評価システムの検討が望ましい。

次に、授業評価については、全学の評価・FD 教育改善専門部会により、学部・学科単位で学生の授業アンケートが実施されているが、看護学専攻の学生の授業評価の回答率と具体的結果の確認および分析が必要と考える。今後、その結果を確認し、組織的に授業の改善等に活かすことが望まれる。

今後は、課題の改善を図るとともに、特色ある取り組みを一層おし進め、看護学教育をさらに発展させていくことを期待する。